

碧南の図書館友の会会報

航海日誌



碧南の図書館友の会編集

碧南市鶴見町1-70-1

電話 0566(41)0894

No. 135 2021年3月

編集責任者 杉浦卓郎

「志を立てる」

友の会初代会長

板倉朋子

昨年秋、現会長の杉浦さんから、図書館友の会の創立30周年記念誌発行のお知らせをいただき、感慨もひとしおです。創立当時を担わせていただいた者として僭越ではありますが、皆様のご協力のたまものと心より感謝し、お礼申し上げます。

思い起こせば30年前のある日のこと。その頃の市民図書館の書架へ急ぐ私の肩をトントンとたたく人がいました。ふり返るとそれは加藤館長でした。びっくりして挨拶する私に「今度図書館の友の会を作ることになった。ついては図書館大好き人間の板倉さんに、ぜひ会長をやってもらいたい」と、にこやかに事もなげにおっしゃったのです。しかし、何の力も無い私です。果たしてお役に立てるのだろうかと思ひました。そして思われました。「時に大きな冒険であっても、やろうと思う心を持てば何でもできる。勇気をもってやろうよ」と。私は会長の任を喜んでお引き受けすることにしました。

友の会発足の時、加藤館長が言われた「そこへ行くことが楽しくなるような図書館をめざす」との高い志が私たちの心に灯を点したのです。迷っていた心は決まりました。市民の皆さんに図書館への第一歩を体験していただき、図書館の良さを知っていただく、夜のコンサートを計画いたしました。当日心配した大雨にもかかわらず多くの来館

をえて「これから図書館を利用するよ」の声。喜びの中ですべてが終了し、大きな緊張感から解放された全てのスタッフは、肩を抱き合い、うれし涙と笑顔に包まれながら、たがいの労をねぎらいあったのでした。

次はバザーにチャレンジ。スタッフ全員、当日まで頑張りました。その熱意がお客さんにしっかり伝わわり、館内も大盛況でホッとしました。そして大きな益がもたらされたのです。反省会

は皆の夢を語り合う場になりました。その時の暖かさを思い出すと、今でも心がほっこりします。「図書館へピアノを」の声。それが全員の夢となり、4年の歳月をかけ、永田会長の時に皆の努力で夢は実現。今もやさしい音色を奏でてくれています。

こんなに楽しい活動を通して私たちに大きなものを残して下さり、志半ばで天に召された故加藤館長を思う時、感謝ばかりです。

図書館に皆の笑顔が集える時、それは平和の証です。これからも微力ながら、図書館と友の会にエールを送り続けます。万感の思いを込めて。ありがとうございました。



第1回友の会まつり



平成5年ピアノ寄贈

友の会30年の歩み完成



友の会の皆様、編集委員会よりご報告致します。このたび、昨年の11月から友の会創立30周年の歩みを編集してまいりましたが、ついに完成の運びになりました。

A4版21ページでの小冊子であります。平成2年9月の設立総会から本年度までの30年の歩みと各自主サークル(10団体)の紹介コーナー、歴代の会長さん、図書館長さんなどさらに各会員の皆様などを収録してあります。

特に苦勞したことが3点ほどありました。まず1点目は、友の会のロゴマークです。前回の航海日誌でも掲載しましたが、図案を誰れが作成したかについて、約1ヶ月間調査した結果、初代会長の板倉さんから、新川地区の東山に住んでおられる、ニクスデザインの岡島千明さんであると聞き、さっそく電話して、2度もおあいして、直接本人から色々話を聞き30年の歩みの裏表紙に掲載しました。

2点目は、これも板倉さんをお願いして、やっとの思いで見つかった1枚の写真。それは航海日誌第1号で載っている平成2年度9月の設立総会の写真です。今回の30年の歩みのスタートとなる顔になりました。



春に寄せて'93

3点目は、これも前回の航海日誌にお知らせしましたが、元館長の故加藤真澄さんのご家族からのご寄贈して頂きました「春に寄せて'93」の彫刻です。作者が碧南の彫刻のあるまちづくり第5作新川公民館前庭に設置してあります「樹と少女」である山本正道さんと同じです。その当時の航海日誌を読みますと「樹と少女」の少女像が妹で図書館の「春に寄せて'93」の少女像が姉ということが載ってありました。つまり2つの彫刻の少女像は姉妹です。



樹と少女

令和3年2月上旬に完成して、業者に発注して、2回の校正を経てやっと完成することが出来ました。

限られた期間、予算など制限されていましたが、一応の成果として会員の皆様に配布することが出来、読んでいただければ幸いです。

今後40年50年と友の会の発展になれば喜ばしいことでもあります。今後ともよろしくお願ひ致します。

編集委員会より

友の会「30年の歩み」頒布案内

内容: 碧南の図書館友の会発足30年の歩み A4 21ページ 一部カラー
30年の歩み、各サークル紹介コーナー、歴代の会長・副会長一覧など

金額: 500円

部数: 50部(売切り次第 終了)

期間: 4月1日(木)~6月30日(水) 9時~5時まで

発売場所: 碧南市民図書館 本館 窓口

問い合わせ: 友の会 杉浦卓郎48-0481

碧南万葉集を読む会

村上チオリ



春の園 紅にほふ 桃の花

下照る道に 出て立つをとめ

大伴家持

万葉集巻一九の巻頭に位置する、大伴家持の十二首の最初の歌です。燦々とふりそそぐ春の光に、桃の花々が美しく映え、照り輝く木々の下に出で立つ乙女は桃の花のよう美しい。この瞬間が永遠に続いてほしい。そんな家持の歎声は聞こえてきそうです。

春の野に 霞たなびき うらがなし

この夕かげに 鶯鳴くも

大伴家持

霞がたなびき春の夕日に包まれた野が広がっている。そこに緊張の糸を緩めたような鶯の音が低く響く。鶯の鳴き声はうら悲しく感じられ立ち竦んだのかも知れない。家持にとつて春は心を癒す季節ではなかったようです。

うらうらに 照れる春日に 雲雀あがり

心悲しも 一人し思へば

大伴家持

のどかに照る春の日差しの中を、雲雀が高空へ舞い上がってゆく。その囀りを耳にしながら物思いに耽っていると物悲しい。心地よい春なのに憂鬱な気持ちに去らない事を詠んでいます。

私達は万葉の世界をこよなく愛する仲間です。

万葉人が感じた喜びや悲しみは、歌の中にどのように現れているのか。

また、歌人たちは、捕らえ処のない心の動きを、どのような工夫で歌に言い表したのか。古くて新しい『万葉集』の趣深い歌と表現の味わい方を楽しく語り合います。

一か月に一度、第四日曜日の午後1時半～です。ご参加くださいますよう心よりお待ちしております。



小倉百人一首より



令和3年度「友の会」会員募集

会費：一人年額500円(令和4年3月31日まで)

運営：会で選出された世話人が相談して運営します。

入会されますと

- 会報「航海日誌」(年5回発行・臨時号含む)をお届けします。
- 秋に行われる視察見学会への参加資格が得られます。(昼食費自己負担)
- リサイクル本バザーの購入券(100円)と呈茶券を差し上げます。

お申込み お問い合わせ

碧南市民図書館本館 電話0566-41-0894

申込用紙は図書館本館カウンターにありますのでお尋ねください。



碧南の図書館友の会 総会のお知らせ

令和3年度の碧南の図書館友の会の総会が下記のとおり開催されます。
各員各位のご出席をお願いいたしたくご案内します。

記

開催日時： 令和3年4月28日(水)午前10時より

会場： 碧南市民図書館本館2階会議室

議案： 令和2年度事業及び決算の報告
令和3年度事業及び予算案の審議 他

碧南市民図書館の本館、中部、南部分館の館長さんも来賓として出席されます。
多数の皆さんのご出席をお待ちしています。

訃報

平成26～29年度、4年間会長を勤めた神谷猛さんが昨年12月に亡くなりました。
ご冥福をお祈り申し上げます。

